

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2014

6月

No.108



特集 P2・3

平成25年度 事業・決算報告

ふくしでつながるカタチ さらに大きく!

つながりふくしプラン3年次の取り組み



ひ孫と
いっしょ

シリーズ107

千種町 室

ひなくら みおじ
雛倉 峯治さん(86歳)

みさき
○美咲希ちゃん(12歳)

ひなくら ゆたか えり
雛倉 優さん・江里さん

■長女

ふくしでつながるカタチ さらに大きく!

つながりふくしプラン3年次の取り組み

宍粟市社会福祉協議会では、5月29日(木)第25回評議員会を開催し、平成25年度の事業報告ならびに決算の承認を行いました。

平成25年度は、23年度に5か年計画で策定した「第2次地域福祉推進計画(愛称:つながりふくしプラン)」において3年次の取り組みとして掲げた活動を推進しました。

今月号では、つながりふくしプラン4つの推進目標から25年度に社協が取り組んだ活動を一部抜粋して報告します。

新たなボランティア 活動を推進

地域活動のきっかけづくり、
仲間づくりを目的に開催



退職世代を対象としたボランティア講座「セカンドライフ応援セミナー」(全5回講座)を開催。受講生でボランティアグループ「ぶるーべりい会」を結成し活動が始まりました。

「小地域福祉 活動モデル地区事業」 第1期が終了

原福祉連絡会が福祉委員を
対象とした研修会を実施



平成24年から第1期モデル地区として鶴木、宇原、西深、福野、原、西河内の6つの自治会を指定し、その地域に合せた福祉活動や福祉連絡会の組織強化に取り組みました。

相談支援センター ゆめぷらん開設

一宮保健福祉センター内に
事務所を設けています



障がいのある方が自分らしく地域で自立した生活を送ることが出来るよう、日常生活に関する様々なご相談に対応し、必要な情報の提供や助言などを行う相談支援センターゆめぷらんを開設しました。

災害救援活動の 強化

災害救援ボランティア活動支援
マニュアルに沿って、仮設のボ
ランティアセンターを設置



豪雨災害を想定した災害シュミレーション訓練を実施。緊急連絡網の点検と介護サービス利用者の安否確認方法の検証、災害ボランティアセンターの立上げ訓練を行いました。

ほかには…

○結婚相談・宍粟市出会いサポート事業を推進

宍粟市から「出会いサポートセンター」の委託を受け、結婚相談の実施や未婚の男女の出会いの場となる交流イベントの開催。また、結婚相談所を開設し未婚の男女の出会いに関する相談や紹介などに対応しました。

交流イベント 3回

- ・国見の森の恋物語PART2
- ・婚活セミナー&交流会 恋する大人のクリスマスパーティー

- ・ぶらり城崎温泉&天空の城DE恋たびGO♪

参加者数:97名 カップル成立数:15組

結婚相談所開設24回 結婚相談員24名

紹介件数:159件 お見合い件数:54件

成婚組数:6組

○災害救援ボランティアバス、ボランティアワゴンを運行

7月28日の豪雨により、甚大な被害が発生した山口県萩市へ災害救援ボランティアバスを運行し、14名のボランティアが活動しました。また、9月16日に発生した台風18号の被害に遭った京都府南丹市へボランティアワゴンを運行し、職員4名が活動しました。

○移動手段のない方の通院を支援する移送サービス事業

介護保険の要支援・要介護認定を受けている方や身体障害者等で移動することが困難な方を対象に、市内の病院や公共機関への送迎を行い、ご利用者の社会参加を支援しました。

市の補助を受けた「外出支援サービス事業」は延べ5,920人が利用。

社協が独自に実施する市外の病院等への移送サービス「福祉有償運送事業」は延べ2,597人が利用され、移動手段のない方にとって大切なサービスになっています。

※25年度の決算報告は特別号に掲載しています。



限界集落化していく地域での福祉活動の推進

元気な地域づくり懇話会
(小茅野自治会)



懇話会の開催

波賀第6ブロック 11月1日(金)
(日ノ原、音水、鹿伏、戸倉、道谷)

小茅野自治会 11月14日(木)

お出かけ号運行 12月26日(木)



お出かけ号と
シンボルマーク
(ステッカー)

波賀第6ブロックと山崎町小茅野の2カ所で懇話会を開催。毎日の生活でお困りのことやニーズ調査を行いました。その話し合いからニーズの高かった買い物送迎バス「お出かけ号」を波賀北部域で試行運行しました。

介護予防サービスの取り組み

本会職員の掛け声にあわせて体操する利用者のみなさん



高齢者の介護予防事業として取り組む「通所型介護予防事業」は、「お達者クラブ」「あいあいクラブ」「あじさいクラブ」と支部ごとに愛称をつけ実施しています。昨年度は4つの支部で計648回実施し、延べ参加者数は9,136人となりました。

やさしさ

ボランティアは健康でなければこそ

山崎ボランティアのつどい

5月13日(火)、宍粟防災センターで『ボランティアのつどい』が開催され、山崎ボランティア連絡会の会員80人が参加しました。

今回のつどいでは、「健康」をテーマに、たつの市の神尾洋一さんを講師に招き、笑いヨガを体験しました。

笑いヨガは、手拍子や簡単な動きを取り入れながら笑うことで、深い呼吸ができるので、体に良いという健康法です。

「わっはっは」と笑いながら、手拍子をしたり独特のリズムを練習するうち、参加者から



アトラクションでは、民児協ハーモニカサークルの演奏。素朴な音色、懐かしい曲に聞き入りました

は「体が軽くなってスツキリする。笑うことは大事やね」という声が聞かれました。

「健康であつてこそボランティアが続けられる。地域の中で励まし合いながら活動していきたい」と、春名若子会長。みんな笑い、体を動かすことで会場が一つになり、皆さんのパワーを感じました。今年も、皆さんの活躍を期待しています。

(山崎支部 草田希望)



「手拍子だけでもツボが刺激されて、温まります」と神尾先生。会場に熱気と笑いが起こります

いのちのみや

運動会と喫茶のコラボレーション!

西公文自治会

5月25日(日)、西公文自治会で「ふれあい運動会」が開催され、2000人を超える住民が集まりました。

会場では、ふれあい喫茶「千年水」の赤色エプロンをされたみなさんが気軽に立ち寄れるカフェスペースを作られていました。

喫茶名の「千年水」は、西公文に太古から湧き出る名水にちなみだもので、当日出され



「頑張れ〜!」拍手と声援で会場が一つに



ふれあい喫茶で競技の合間に「ほっと一息」

たコーヒーに使われていました。

「ふれあい喫茶との連携で、住民同士のつながりが深まれば」と自治会長の森好彦さん。

西公文では、自治会行事とふれあい喫茶を合同で行うことで、多くの住民が参加し楽しめる工夫をされています。

みなさんの地域でも、コラボした取り組みをされてみてはいかがでしょうか。

(本部・一宮支部 三宅あゆみ)

は
が

隣保の当番制で運営

有賀ふれあい喫茶

「長く続けていくためには、準備する人の負担にならないようにしていくことが大事」と、代表福祉委員の勝部主税さん。

「こつやつて来られる場所があるで家から出られるん

性も多く見られます。各隣保が工夫をこらして喫茶に関わり、当日の受付には中学生の姿もありました。

5月18日（日）、有賀公民館でふれあい喫茶が行われました。今回は、田植えや茶摘みで忙しい中、65人の参加がありました。

有賀ふれあい喫茶は、隣保の当番制で運営されており、



「毎回の喫茶で顔を見るのが楽しみで」(有賀公民館)

よ」と参加者の声からも、喫茶が気軽に立ち寄れる場として定着している様子がうかがえます。

喫茶を隣保の当番制にすることで、自然にみんなが関わりをもてるようになっていきます。これからも自分たちの地域にあった取り組みを応援します。

(波賀支部 平有利菜)

ち
くさ

「善意の日」の呼びかけに協力

中学生が地域で奮闘！

6月2日（月）から6日（金）にかけて、千種中学校のトライやる・ウィーク実施に伴い、2年生女子2名（藤原胡桃さん、新免京佳さん）が、「善意の日」の呼びかけに協力しました。

2日には、幼稚園や保育園児たちと商店街をパレードし、お客さんやお店の人にティッシュや風船を配りながら「善意の日」をPRしました。

また4日には、社協広報車により啓発テープを放送しながら千種町内を巡回し、それに合わせて善意の預託袋を自治会長さん宅にお届けしました。

生徒からは、「町内をまわることでいろんな出会いがあった（新免）」「善意の日を多くの人



生徒たちの一生懸命な姿に感動しました
(6/4 河呂農村公園にて)

に伝えていきたい（藤原）」といった声が聞かれ、充実した時間が過ごせたようです。

藤原さん、新免さん、社協での一週間はいかがでしたか。この経験を学校生活にぜひ生かしてください。

(千種支部 小原志のぶ)

読者の
感想より

最初は社協に縁がないと思っていたのですが、二年前に一宮に住んでいた姉が社協の方にお世話になりました。本当に優しく親切に接してお世話して下さいました姿をこの目でしかと見て本当に嬉しかったです。(山崎町 女性)

第59回 こどもホームステイ事業 探しています！ 里親ボランティア



昨年度は83人の子どもたちが宍粟に!

昭和30年から続く「こどもホームステイ事業」(短期里子事業)。

様々な理由により親元を離れて生活している「児童養護施設」の子どもたちが、4泊5日であたたかい家庭の雰囲気を感じます。

今年も、楽しみに待っている子どもたちを受け入れていただけのご家庭を募集します。

期 間 7月25日(金)～7月29日(火)
の4泊5日
締め切り 6月30日(月)
お問合せ先 各支部

あなたも「めいちゃん」に!



宍粟総合病院で青いエプロンをトレードマークに活動をしている「めいちゃん」。

玄関前で来院される患者さんのお手伝い活動をメインに、昨年から人工透析をされる患者さんの見守り活動を始めました。

活動に特別な資格や技術は必要ありません。みんなの役に立ちたい、人と人とのふれあいを大切にしたいという気持ちがある方、「めいちゃん」でいっしょにボランティアしませんか。

場 所	宍粟総合病院	透析室での活動
活動日	月曜日から金曜日 (祝日を除く)	活動日 月・火曜日
時 間	午前9時～11時	時 間 午後1時～ 午後2時30分

△問合せ:宍粟総合病院総務課(62-2410)

スムーズに 会話をしていきたい



神河町社協で交流会

5月19日(月) 傾聴ボランティアが交流会

「ロバの耳」のメンバー11名が同じ傾聴ボランティアとして神河町で活動している「お話し相手ボランティア」と交流しました。

この日は、「スムーズに利用者さんと会話していきたいですね」「しゃべることは呼吸です」とお互いの活動状況や普段の活動の悩みなど意見交換を行い「あ～なるほど。聞かせてもらってスッキリしました」と悩みが少し解決したようです。

「次回は認知症の勉強をしたい」と今後の活動に意欲的なロバの耳のみなさん。

このような交流の機会を大切にしながらロバの耳の活動をこれからもお手伝いしていきます。

(山崎支部 横山洋子)

ボランティア センター日誌

ボランティアの日



5月31日(土) しそう自立の家オープンデー

6月1日(善意の日)に先立ち行った、ボランティアの日。今年は「しそう自立の家オープンデー」において、喫茶とバルーンコーナーの手伝いボランティアに取り組みました。

当日は、しーたん放送やボランティア連絡会へも呼びかけ、7名が集まりました。

自立の家からお借りしたおそろいのエプロンで「いらっしゃいませ」とにこやかに入居者の皆さんとも会話を楽しみながら交流を深めました。

参加者の感想

*初めての参加でしたが、ここは空気がやわらかくて安心しますね。

*皆さん楽しそうにいい笑顔でよかったです。

(波賀支部 坂本幸子)